



学校だより

# 「至誠」

防府市立松崎小学校

第42号

令和3年1月13日

## <児童生徒1人1台タブレット端末 (iPad) の活用について>

みなさんも「ギカスクール」という言葉をすでに耳にされているのではないかと思います。新型コロナで大変なときに重なってしまいましたが、子どもたちの学びをより豊かなものにするため、国が本気になって、教育におけるICTの整備と活用に乗出したのがこの「GIGAスクール構想」です。児童生徒一人ひとりにコンピュータを使用させるとともに、高速のネットワークを整備し、ICTを活用した学びを行いやすくすることで、子どもたちの学びを、より深く・多様なものにしていこうとされています。

### “すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT

#### 🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



#### 🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- ・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



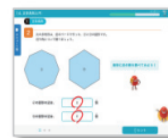
#### 🌱 一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



#### 🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



文部科学省「GIGAスクール構想の実現」より

防府市でも令和2年度から、GIGAスクール構想実現に向けて、児童・生徒1人1台のタブレット端末の配備が行われています。松崎小学校にも、卒業を控えた小学校6年生に優先的にiPadが配備され、1月からiPadを活用した授業を展開していきます。

iPadには純正アプリ以外に、ロイロノート、NHK for School、プログラミング関係アプリ、Zoom、学習ドリル教材(小6・中3のみ)などがインストールされています。なかでも、ロイロノートは、1人1台のタブレット環境での学習に適した授業支援クラウドアプリです。直感的な操作で学習活動における先生・子どもたちの「できたらいいな」を実現する大変優れたアプリだと思えます。



iPad



ロイロノートを使って

また、学校外でもネットにつながるように、セルラー方式(LTE)による通信もできるようになっています。

卒業を控えた6年生年の子どもたちの支援として用意された、学習ドリル教材では、小1～中3までの問題を解くことができ、教員の端末から学習状況の把握等もできるようになっています。子どもたち一人ひとりに個人アカウントが割り振られているので、自宅のコンピュータからもログインでき、家庭学習にも役立てることができます。

30年以上前、私が教員になった頃、いつかは子どもたち一人に一台の時代が来るかもね、と話をしていたことを思い出します。やっと現実になりました。しっかり活用していきたいと思えます。

<<裏面をご覧ください。>>